

宇佐市民図書館だより

みんと

第167号

2013年1月1日発行

宇佐市民図書館 本館

〒879-0453 大分県宇佐市大字上田 1017-1

TEL.0978-33-4600/FAX.0978-33-4679

<http://www.usa-public-library.jp/>

安心院分館

TEL.0978-44-1111(支所)/FAX.0978-44-2181

院内分館

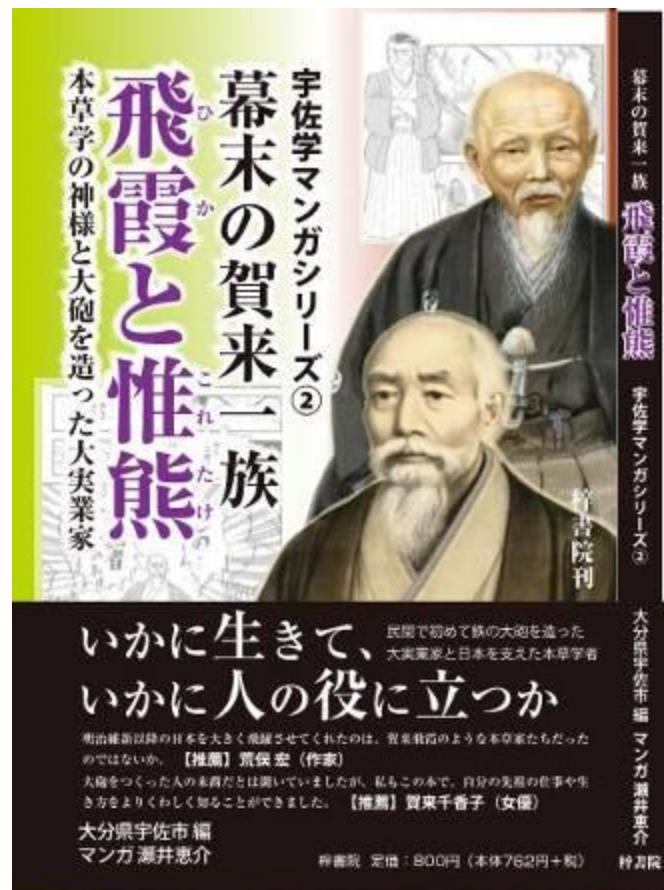
TEL.0978-42-5111(支所)/FAX.0978-42-5115

比較図書館学へのご招待

よむそう

先日、研修で県内の学校図書館を見学する機会がありました▼日出町立川崎小学校は全九州学校図書館コンクール優秀賞を受賞。25年専任の学校司書、検索用パソコン設置。「行きたくなる」「読みたい本がある」「学習サポートに役立つ」を目指した図書館です▼県立爽風館高校は新設校らしく新しい本が並び、廊下の壁面にチャート式で本を紹介。ビブリオバトルなど「読書」への誘いが魅力的です▼大学図書館であるAPUライブラリーでは事情が一変します。半数が国際学生とあって、日本語の読み書きを教える場や相談の場所もあり、図書館は調査研究と学びあいの場。学術的な電子雑誌の導入も推進しています。導入は全国的な傾向で学生は習熟を求められますが「いきなり使いこなすのは困難で、小さい頃からの積み重ねが大切だ」と感じました。県内在住の方なら一般利用が可能です▼大学図書館と似ていると感じたのはBIコモンズライブラリー。報告書や調査書、調査用ブース。機械情報産業の専門図書館です。最近の一部の専門図書館も一般公開しています▼地域の学校図書館、大学図書館、公共図書館、専門図書館。旅先で本屋や図書館に行く。そんな楽しみ方があります。今月から各地の専門図書館を紹介する欄を設けました(7P)。旅の楽しみに図書館見学を加えてみませんか? 宇佐市民図書館も随時見学をお受けしています。新たな発見があります。

- マンガ『飛霞と惟熊』を発売 2
- 第9回・読書感想文・感想画コンクール 3
- 特別掲載・「アラマタが語る賀来飛霞」より
作家・荒俣宏さん 4・5
- マンガ『飛霞と惟熊』
出版記念フォーラムを開催 6
- 行ける・使える専門図書館① 7



『幕末の賀来一族 飛霞と惟熊』発売中!

暮らしに役立つ情報をお届けします

宇佐市民図書館

宇佐学マンガシリーズ②

図書館で販売しています。¥800

『幕末の賀来一族 飛霞と惟熊』を発売!



郷土の偉人顕彰事業の一環として、宇佐学マンガシリーズの第2弾「幕末の賀来一族 飛霞と惟熊」を刊行しました。賀来飛霞（かく・ひか）は幕末日本の三大本草学者、賀来惟熊（かく・これたけ）は、民間人としてはじめて、鉄製の大砲を造った人物で、ふたりは現在の宇佐市安心院町佐田にゆかりのふるさとの先人です。利他の精神で人々のために生きた、その業績と生涯がマンガと関係資料でわかりやすく学べる楽しい一冊です。

11月もスペースだより161

新しい年が始まりました。

最近、「楽しく学べる」と学習漫画が見直されています。日本の産業が学べる非売品のシリーズもあります。お年寄りの方にもとても好評です。宇佐市も新しい伝記を漫画で出版しました。

今月の絵本展示架は【もっと知りたい！ 学習まんが特集】です。特集展示架は【節分と鬼の話】です。

お手紙ありがとう

学習マンガのしるしを
ふやしてほしい

図書館から

いつも図書館を使ってくれて、ありがとうございます。

図書館は新しい学習漫画も増やしていますよ。今月の展示は、あなたのお手紙におこたえたものです。たくさん読んでみてください。

第9回 宇佐市読書感想文・感想画コンクール
表彰式・朗読発表会

十二月十五日に『第9回宇佐市読書感想文・感想画コンクール表彰式』が百人を超えるお客様を迎え、優秀賞と藤花賞の2部門に入賞された三五名の方々の栄光を称え表彰式と朗読発表会を行いました。

感想文二二〇〇作品・感想画二二〇〇作品の多数の応募がありました。その作品の中から優れた方々の作品を皆様に披露することができ、図書館として、とてもうれしく感じています。入賞作品を掲載した作品集もつくりました。この作品集は図書館にも所蔵しています。

今回の表彰式より「藤花賞」を創設しました。この賞は入賞された作品のなかでも特に秀でた作品に贈りました。受賞された方々、本当におめでとうございます。

藤花賞（感想文） ※敬称略

- 駅館小学校1年 森本秀明
- 駅館小学校2年 國東伸樹
- 佐田小学校3年 麻生花帆
- 高家小学校4年 中園太陽
- 長洲小学校5年 常盤優菜
- 高家小学校6年 塚本 怜
- 駅館中学校1年 古椎正暉
- 安心院中学校2年 佐藤百夏
- 安心院中学校3年 佐藤沙弥香

藤花賞（感想画） ※敬称略

- 四日市南小学校1年 櫻井 美渚
- 安心院小学校2年 永野 惺史
- 深見小学校3年 岩尾 愛花
- 和間小学校4年 村上 萌
- 豊川小学校5年 井原 拓海
- 駅館小学校6年 鳴海 舞
- 長洲中学校1年 入学 百花
- 西部中学校2年 上田 真実
- 西部中学校3年 植山 紘



郷土スペース通信一六五

『宇佐市

暮らしの便利帳』（宇佐市・サ
イネックス・2012・10）



宇佐市の生活全般に関する情報を網羅した『わが街事典・宇佐市暮らしの便利帳2012』が完成し、このほど市内全戸配付されました。内容は「宇佐市ガイド」「市役所の組織と電話番号」「手続き・税」「健康・福祉」「生活・環境」「教育・文化・スポーツ」などなど。困った時に役立つ情報が満載です。

この情報誌は、宇佐市のホームページで電子書籍版でもみることが出来ます。PC版、iPad版、iPhone版、Android版の4種類があります。

特別講演・抄録

「アラマタが語る賀来飛霞」より

荒俣 宏さん(作家)



2012年8月18日、賀来飛霞の故郷・宇佐市安心院町で
開催された講演会から、一部を編集部で再構成し、紹介します。

特別講演・「アラマタが語る賀来飛霞」より 荒俣宏さん(作家)

本草学は昔の医学

本草学とは何か? ごく大雑把に
いえば、医学と考えればわかりやす
いと思います。普段からどうい
うものを食べればメタボにならないか
というように、人間の暮らしに指針を
与えてくれるのが医学です。昔の医
学のベースは日々の食事でした。物
を食べるといふところから、暮らし
を豊かにし、長生きができるよう
なテクノロジーや学問が発達します。
その学問の、中国での古い名前が本
草学でした。当時の薬は植物でし
たので、その代表名をとって「本草」
でもこれはオーソドックスな考
方で、医学の進歩はさまざまな分野
に広がっていきます。地球の自然物
にはいったい何があるのかという研
究から初まって、どれが体によく、
何に効くのかということ調べるの
が本草学でした。今風にいえばさ
ずめ、「総合的な人間科学」です。

裾野の広い本草学

自然物のなかには植物や虫や動物

だけでなく、岩石や鉱物も含まれて
いました。直接体に効くということ
は少ないかもしれませんが、うまく
使えば産業に役立ちます。石炭や石
油が私たちのインフラの重要な要素
になってきたように。水や太陽や空
気も対象になります。お米をうまく
つくるには、大切な要素ですから。
今でいえば化学や機械工学なども必
要となります。これだけ幅広いこと
をやるという勇敢な人々が、江戸
時代にたくさん出てきました。こう
いう人たちが本草家と呼ばれる人た
ちです。

本草学者の横綱・賀来飛霞

賀来飛霞は、伊藤圭介、飯沼慾齋
と並んで幕末の三大本草家と呼ばれ
ています。この三人が横綱格だとい
うことです。

江戸時代の政治も経済も科学も学
問も、二五〇年平和な時代が続いた
ために、ある種の制度疲労をおこし
ていました。このとき、自然物を扱
い、人間の体を直し、産業を豊かに
するといふ、大きな意味での本草学
が注目されたのです。

賀来飛霞は日本の立て直しの基本

的な技術として本草学が注目された
時代にちょうど生まれあわせた人物
のひとりでした。

本草家は大砲もつくった

幕末に日本を立て直したリーダー
の中には本草学者がたくさんいまし
た。その証拠に、本草学者には砲術
を勉強した人が多いのです。今では、
植物や動物の研究者が鉄砲や大砲を
同時に研究しているということはま
ずあり得ません。両者はまったく関
係のない世界で、兵器を扱うのは兵
学や軍事の研究者たちです。一方、
植物や動物を扱うのは、ナチュラル
リストと呼ばれる自然を愛する人たち
でした。ところが、本草家は自然の
研究どころか、鉄砲や大砲まで作っ
ていたということを、賀来一族をみ
て驚きました。日本の本草家はすご
いと思いました。

伊藤圭介の場合

たとえば、伊藤圭介。飛霞の兄・
佐之とも友達でした。飛霞を明治に
なつてから東京の東大・小石川植物

園に連れて行き、東京で本草学の仕事をさせた人ですが、日本で最初の理学博士になっています。同時に日本でおそらく最も早く博士号をもらった学者でした。その意味では、植物学者ともいえるのですが、この人は尾張の人で、名古屋を豊かにするいろいろな仕事を手掛け、自分の作った大砲を藩の殿様に献上しました。幕末は、日本が外国に狙われた危ない時期のひとつでした。だから大砲づくりが必要だったのです。それをつくれたのは、語学力をもち科学的な訓練を積んだ人々でした。

田原直助の場合

田原直助は九州薩摩（鹿児島）の人です。薩摩の島津斉彬は科学が大好きな殿様でした。田原はその殿様が非常に信頼した家臣でした。彼も有名な本草家で、あちこちの山に薬物や鉱物を探しながら、地球上の調査を繰り返した人です。当時、苦しい状態だった四国の宇和島藩が、自分たちの土地にどんな産物があるのか調査してほしいと依頼してきたほどの人でした。田原は今でいうコンサルタントとして宇和島の町おこ

し、物産おこしに貢献しました。薩摩がイギリスと戦争をするときのために大砲をつくった人物でもありまいた。もともと鉄の精錬技術をもっていた人で、大砲もつくり、砲台もつくりました。

いま私たちが本草家という人々は、英語ではナチュラリストと呼ばれ、植物や動物を愛する平和な人々というイメージがありますが、そういう要素もありながら、いざ戦争となると、そのような知恵を働かせることのできる人物だったのです。

矢田部良吉の場合

矢田部良吉は東大で最初の植物学教授になった人で、日本近代的植物学の開祖ともいうべき人物です。反射炉で有名な伊豆の韮山の出身で、大砲づくりに右に出るものはいないといわれた江川太郎左衛門のもとで大砲づくりを学びました。明治になってから外交官になろうと海外留学をしたときに、本草学、植物学に興味をもち、帰国して植物学者になった人です。もとは大砲を作っていた人でした。

賀来飛霞の場合

飛霞の親戚に、民間で初めて反射炉をつくり、大砲を製造するという、当時では考えられないこととした賀来惟熊（これだけ）がいました。普通は藩や幕府がする仕事を、小さな町で、自分たちの力だけで成し遂げました。賀来飛霞はのちに、東大の植物園に奉職して名を馳せるわけですが、若いころは惟熊を手伝って大砲づくりに携わっていました。何でもこんなに関係のなさそうなことが同時にできるかというと、それが当時の本草学者たちのレパートリーのひとつだったからです。さらに、この人たちは外国語ができる医者でした。医者は、草木の薬が効かなければ、鉱物の薬も使います。空気がいいところへ行ったり水を替えたり、太陽の当たり具合ということも知らなければいけません。何でも知らなければ人間は救えません。外国語ができる医者だったということが本草学者たちのかなり重要な要素でした。

堀誠太郎の場合

最後に堀誠太郎。山口県の出身で、幕末に高杉晋作のもとで奇兵隊の隊長をしていました。蛤御門ノ変とか、長州藩が当時盛んに行った内戦の先陣を切っていました。明治維新後、クラーク博士で有名な札幌農学校で農業を学び、植物学に転じて賀来飛霞が辞めたあとの東大小石川植物園や新宿御苑で、今私たちが食べているセロリやパセリやキャベツなどの西洋野菜で日本人に滋養を供給しようとした大きなプロジェクトを組んだ人です。奇兵隊の切り込み隊長が、維新後、本草学者になったわけです。

龍馬や晋作よりの飛霞？

このような本草家たちが、倒れそうになっていた幕末の日本を立て直そうと活躍したのです。今、彼らの名前は日本史にほとんど出てきませんが、坂本龍馬や高杉晋作など、日本人なら誰でも知っている志士たちよりも、もしかしたら、明治維新以降の日本を大きく飛躍させてくれたのは、賀来飛霞のような本草家たちだったのではないかと、最近私は思っています。

宇佐学マンガシリーズ②

『幕末の賀来一族 飛霞と惟熊』

出版記念フォーラム

【記念講演】

「幕末維新の宇佐地域～宇佐大路を手がかりに～」

講師：豊田寛三氏（別府大学学長）

【座談】

「マンガで知る郷土の偉人」

講師：瀬井恵介氏（マンガ家）

平井義人氏（大分県立先哲史料館館長）

平川 毅氏（大分県立歴史博物館）

日時 平成25年1月27日（日）
13：30～16：00

場所 宇佐市民図書館（視聴覚ホール）

主催 宇佐市

お誘い

昨年度当初から実施してきました賀来飛霞・惟熊の顕彰事業は、マンガ本の発刊、出版記念フォーラム、そして、この企画展をもってフィナーレを迎えます。今回の展示では、新資料なども用意してふたりの業績を振り返ります。お楽しみに！ みなさまのお越しをお待ちしています。

「幕末の賀来一族 飛霞と惟熊」展
2F 渡瀬記念ギャラリー
1月27日（日）から開催予定！

知ると楽しい図書館のミカタ 51

『へび大図鑑』

今年の干支、へびとはどんな動物でしょう？

足がないのに素早く動き、隙間に入りこむこと、巻きついたり咬みついたりして獲物を捕えること、脱皮するなど不思議な生態から様々な神話や伝説に登場します。

初めて現れたのは1億～1億5000万年前の白亜紀、トカゲのグループから分かれたとされています。最大のへび、オオアナコンダやアミメニシキヘビは10mを超え、最小のフタスジホソメクイラヘビは10・8cmほどです。

この本はへびの掲載は60種ほどで「大図鑑」には物足りません。翻訳ものなので、日本のへびも紹介されています。しかし写真が大きく美しく、珍しい種類が多いので、へびの世界の多様性をビジュアルにとらえるには適しています。

ヤングコーナーレビュー 100

◆◆新着本から◆◆

『少女系ものの図鑑』

玉木 えみ 著
DU BOOKS

日本にきのこの仲間には3000種類もあるという。しいたけ、えのき、しめじなど食卓でお馴染みのものから、ベニテングタケやカエンタケなどの毒きのこまで様々なきのこがあるが、その中から105種類のきのこを擬人化。柔らかなタッチで描かれるきのこ少女たちの絵とともに、きのこ図鑑としてもじっくり解説がある役に立つ1冊。

◆◆その他の新着本から◆◆

- 『黒子のバスケ—Replacе 2—』
- 3 『晴れのちツインテール』『空想科学読本12』『学歴・競争・人生』
- 『このライトノベルがすごい！2013』『ゲート外伝南海漂流編』
- 『ケーキポップスの本』『RDG レッドデータガール6』『食料自給率を考える』『気をつけよう！消費者トラブル』『新聞を読もう！』『スポーツ障害』『ぼくらが作った「いじめ」の映画』『おばあちゃんが、ぼけた』
- 『イラスト地図でおぼえる47都道府県』『電波的な彼女』 他

図書館日誌 11月20日～12月19日

- 11/20 宇佐市民図書館協議会
- 11/27 中世文書を読む会 (12/18)
- 12/2 絵便り教室
- 12/8 図書館職員おはなし会
- 12/11 近世文書を読む会
- 12/16 津崎恵二さん「宮沢賢治朗読会」

図書館ボランティア 11月20日～12月19日

- 11/22 図書整理ボランティア (12/6、12/13)
環境美化ボランティア (11/15)
- 11/28 「もういいかい」おはなし会
- 12/13 「おはなしあのおね」おはなし会
- 12/19 「たまたばこ」おはなし会

行ける・使える専門図書館①
BI コモンズライブラリ (東京)
 (BI=ビジネスインフォメーション)



当ライブラリのある機械振興会館は、東京港区芝公園にあり、道をはさんで東京タワーに向かい合っています。BI コモンズライブラリといわれてもどんな図書館か想像もつかない方が多いのではないかと思います。約50年にわたり、機械産業についての情報を収集、提供してきた専門図書館です。利用者は調査研究に関わる方が多く、一般の方にはどうしてもなじみが薄く、利用しにくいイメージがあるようですが、当ライブラリは一般公開しており、電話、メールでのレファレンスも受付けています。

機械産業を中心とした統計や、企業情報、団体や調査会社のレポート、社史、有価証券報告書(1986年～)など、他にはあまり所蔵のない雑誌、参考図書がそろっています。

機械振興協会の報告書、調査会社のレポートなどを、webで利用できる電子ライブラリの運用も開始しました。一部のコンテンツはフリーで利用できます。

<http://www.jspmi.or.jp/biclibrary/index.html>

1月のミニ展示

東側(一番奥の0の棚)から順番に照会しています

窓側

- ・ジャーナリズム
- ・古代史の女性
- ・日本の歴史を学ぶ
- ・北条家の人々
- ・石原慎太郎／著
- ・貧困と戦う
- ・国防史
- ・高い?低い?血圧
- ・インフルエンザ
- ・百人一首
- ・アガサ・クリスティ
- ・ジョン・アーヴィング
- ・歌野晶午
- ・仁木英之
- ・渡辺淳一

通路側

- ・こころのケア
- ・色んな国の色んな神話
- ・ようこそ江戸へ
- ・日本のえらい人
- ・香山リカと佐高信
- ・お金のあれこれ
- ・放送の世界
- ・太古のロマン
- ・冬は室内ゲームを楽しもう!
- ・人気作家ガイド
- ・“家族”
- ・イタリア文学
- ・ミステリー小説
- ・絆を信じて
- ・女性のエッセイ

【12月】

- 「楽しみなクリスマス」
- 「今年の干支・へび」

【一般】「祝 十一代桂文治襲名」

- 「祝☆J1昇格!!」 大分トリニータ
- 「温かいご飯・服・インテリア」

本館12月の特集展示(過去分)

1月のヤング特集

「幻想の世界」

1月の安心院分館ミニ展示

「映像化作品」

寄贈していただいた方

(11月分・敬称略)

- 原恵子、NPO法人J.P.O.S.H、大石政隆、(株)マガジンハウス、財団法人日本学術協力財団、しよう鑑定事務所、坂本佳友、宇佐文学、(株)TEM研究所、竹田市立図書館、N.T.T.西日本、独立行政法人青少年教育振興機構、(株)日経BPコンサルティング、サイエンス・オブ・エンライトメント、学研パブリッシング、北斗七星、(株)日本公文教育研究会、大分県立歴史博物館、大阪芸術大学

1月の宇佐市民図書館 本館

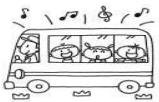
1	火	休館日
2	水	休館日
3	木	休館日
4	金	休館日(図書整理日)
5	土	アニメ「ちびまるこちゃんスペシャル」 14:00~15:58
6	日	映画「男はつらいよ 第1作」 14:00~15:31 絵便り教室 13:30~16:00
7	月	休館日
8	火	近世文書を読む会 14:00~16:00 ほんの森号 ①横山小 ②八幡小
9	水	ほんの森号 ①封戸小 ②和間小 ③長洲公
10	木	おはなし会 11:00~11:30 ほんの森号 ①糸口小 ②豊川小 ③四日市コミュニティー
11	金	ほんの夢号 ①佐田小 ②津房小 県立図書館
12	土	おはなし会 図書館職員 11:00~11:30 アニメ「母をたずねて三千里」8 14:00~15:40
13	日	映画「トランスポーター」(フランス:吹替) 14:00~15:43
14	月	映画「吉田茂とその時代」 14:00~15:20
15	火	休館日
16	水	休館日
17	木	おはなし会「おはなしあのね」 11:00~11:30 金融学習会 14:00~16:00 ほんの夢号 ①南院内小 上院内分校 ②院内中部小
18	金	ほんの夢号 ①安心院小 ②院内北部小
19	土	アニメ「まんが日本昔ばなし」26 14:00~14:50
20	日	映画「夢」 14:00~16:00 絵便り教室 13:30~16:00
21	月	休館日
22	火	中世文書を読む会 14:00~16:00 ほんの夢号 ①福貴野分 ②深見小 県立図書館
23	水	ほんの森号 ①天津小 ②長峰小 ③小峰団地
24	木	ほんの森号 ①北馬城小 ②宇佐小 ③渚団地
25	金	ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③貴船団地
26	土	アニメ「星の王子さま」7 14:00~15:41 続・横光利一を読む会 14:00~16:00
27	日	宇佐学マンガシリーズ② 出版記念フォーラム 「幕末の賀来一族 飛霞と惟熊」 13:30~17:00
28	月	休館日
29	火	ほんの森号 ①横山小 ②八幡小
30	水	おはなし会「もういいかい」 11:00~11:30 ほんの森号 ①封戸小 ②和間小 ③長洲公
31	木	休館日(月末図書整理日・毎月最終木曜日)

ほんの森号の時間帯

①10:20~11:00 ②13:00~13:40 ③15:20~16:00

ほんの夢号の時間帯

①10:20~10:50 11:20~11:40(上院内分校) ②13:00~13:40



おはなし会

10日(木) むくむく 12日(土) 図書館職員
17日(木) おはなしあのね 30日(水) もういいかい
11:00~11:30 おはなしのへや

渡網記念ギャラリー

「幕末の賀来一族 飛霞と惟熊」展
1月27日(日)~3月24日(日)

エントランス展示
第9回宇佐市読書感想画
コンクール出品作品展
開催中~1月14日(月)

講座案内

(参加は自由です。無料。2階・研修室)

古文書を読む会

★近世文書 1月8日(火)

★中世文書 1月22日(火)

※いずれも 14:00~15:30

続・横光利一を読む会

「旅愁」を読む 159

1月26日(土) 14:00~16:00

上映会

上映は14:00からです。

1階・視聴覚ホールでビデオやDVDなどを
使って上映しています(無料)

◆子ども向け(アニメ・ビデオ)

5日(土)「ちびまるこちゃんスペシャル」118分

12日(土)「母をたずねて三千里」8 100分

19日(土)「まんが日本昔ばなし」26 50分
かぐまのちから石、白狐の湯
念仏天狗、猫檀家

26日(土)「星の王子さま」7 101分

◆一般向け(映画)

6日(日)「男はつらいよ 第1作」
(日本) 91分 1969年
出演:渥美清、倍賞千恵子ほか

13日(日)「トランスポーター」(仏:吹替)
103分 2003年
出演:ジェイソン・ステイサム、スー・チャーほか

14日(月)「吉田茂とその時代」
(日本) 80分 1995年
ドキュメンタリーフィルム

20日(日)「夢」(日本)
120分 1990年
出演:倍賞美津子、原田美恵子ほか